



2025 年 10 月 23 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 テ ク ノ ロ ジ ー ズ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 良 原 広 樹
(コード番号：5248 東証グロース)
問 合 わ せ 先 取 締 役 経 営 管 理 部 長 宮 内 駿
TEL. 03-6432-7524

グリーン・データセンター整備事業の本格始動及び補助金採択に関するお知らせ

当社は、2025 年 3 月 11 日付「ソーラーシェアリングと蓄電池を併用し、消費電力の過半を賄うことを目指したグリーン・データセンター整備事業の開始に関するお知らせ」にて公表のとおり、グリーン・データセンター事業の取り組みを開始致しましたが、昨日、環境省所管の「二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金」事務局より、当社が申請していた下記事業が採択された旨連絡を受けましたのでお知らせいたします。

記

1 補助申請の内容

事 業 名 大熊町自家発電併用型データセンター整備事業
申請事業者名 株式会社エコ革
補 助 金 名 二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（データセンターのゼロエミッション化・レジリエンス強化促進事業）
補 助 率 補助対象事業費の 3 分の 1（上限は各年度 3 億円）
採 択 結 果 HP <https://rcespa.jp/r07-datacenter/r07-datacenter-no2/r07-datacenter-no2-adopt>

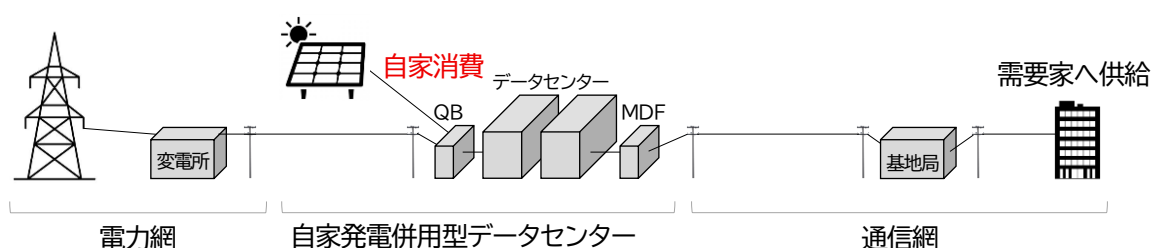
2 本事業の概要

(1) コンテナ型データセンター

コンテナ型データセンターとは、海上輸送などでも利用される国際規格のコンテナに、空調設備や電源設備等を組み合わせ、外部と通信接続されたものです。短期間に低コストで構築でき、増設や移設も容易な点が特徴です。

(2) 再エネの有効活用性

現計画時点における太陽光発電設備による再エネ率（再エネ発電電力／全消費電力）は、サーバーが全て GPU であったと仮定した場合で 12%程度を見込んでいます。電力の過半を再生可能エネルギーで賄うことを目指し、引き続き、周辺地への太陽光発電設備の拡張と、ソーラーシェアリングの可能性を追求していきます。



(3) スケジュール (予定)

2025 年 11 月 交付申請

2025 年 12 月頃 現地工事着手

2026 年秋～冬頃 工事完了

2027 年冬～春頃 稼働開始

3 今後の見通し

データセンターの整備については、国庫補助金の採択を取得できるか否かが事業参入への大きな障壁となっていました。今回申請が採択されたことにより強い手応えを感じており、その高い需要を背景に、スピード感を持って進めていくとともに、今後は国や県などの様々な補助制度への申請件数を大幅に拡大していきます。現時点においても、来年度の申請に向けて大熊町以外に、小美玉市、栃木市、水戸市などにおいて準備を開始しています。

また、国は、太陽光・蓄電池・データセンターが連携したシステムを推奨^{※1}しており、当社の目指すソーラーシェアリングと蓄電池を併用し、消費電力の過半を賄うことを目指したグリーン・データセンターの整備は、将来のデータセンターのあり方に沿うものと考えています。

※1 (2024 年 3 月)「データセンターによる再エネ利活用の促進に関するアニュアルレポート」

<https://www.env.go.jp/content/000146667.pdf>

なお、データセンター事業が軌道に乗り、今後の進捗によっては、大きく収益に寄与するものと考えておりますが、大熊町自家発電併用型データセンター事業の着手時である現時点において、収益算定は予測できませんが、現状軽微と判断しております。

以上